

平成24年行政事業レビューシート（環境省）

事業名	原子力安全規制機関評価事業拠出金	担当部局庁	原子力規制委員会発足まで：経済産業省 原子力安全・保安院国際室 原子力規制委員会発足以降：原子力規制委員会	作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度・平成24年度	担当課室		室長 坂内俊洋
会計区分	エネルギー対策特別会計 電源開発促進勘定	施策名	5 生命・身体の安全 (ただし、原子力規制委員会設置前の施策名)	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第5号第3号 特別会計に関する法律施行令第51条第6項第13号	関係する計画、通知等		
事業の目的	IAEAの統合規制評価サービス（IRRS）を受けることにより、我が国の安全規制等の改善すべき点などを明らかにし、今後の我が国の安全規制向上等に活用する。			
事業の概要	国際原子力機関（IAEA）が実施する統合規制評価サービス（IRRS）は、各国規制機関による専門家チームが、IAEA安全基準等に照らし、受入国の原子力安全規制の有効性を評価し、提言等を行うものである。原子力安全・保安院は平成19年度にIRRSを受け入れたが、今回の東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故後の我が国の安全規制の見直し結果等も含め、改めてIAEAの評価を受けることとなる。 ※原子力規制委員会の発足後、経済産業省から原子力規制委員会に業務が移管される予定。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算額・執行額 (単位:百万円)	当初予算	35	-	-	36	-
	補正予算	-	-	-	-	-
	繰越し等	-	-	-	-	-
	計	35	-	-	36	-
	執行額	-	-	-	-	-
執行率 (%)						

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	本事業はIAEAからレビューを受けることを目的としており、我が国の安全規制等について正しくIAEA側に説明を行い、より正確な評価を受けられるようにする。なお、これらの事項は数値で示せるものではない。	成果実績				
		達成度	%			

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	東京電力福島第一原子力発電所事故後の安全規制等の見直し結果等についてレビューを受ける。その際、どのような理由でどのように見直したかを、分かり易く・丁寧に説明することを目指す。なお、これらの事項は数値で示せるものではない。	活動実績 (当初見込み)				-
				()	()	()

単位当たりコスト	(円/)	算出根拠	
----------	-------	------	--

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	拠出金	36		
	計	36百万円	0百万円	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状況・予算 の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当該事業は国ごとにレビューを受け入れることとなっているため、国が実施すべき事業に該当する。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	IRRSの受入に係る費用のみを拠出しており、費目・用途は限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	IAEAから提出されるレビュー報告書等を活用することにより、我が国及び国際的な原子力安全規制の更なる向上に資する。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検 結果	IRRSの受入により、東電福島第一原発事故後の日本の規制当局の有効性、その規制の枠組み及び規制活動の評価・提言を受けることにより、我が国の原子力安全規制の更なる向上に資することとなる。		
予算監視・効率化チームの所見			
		引き続き、必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		引き続き、必要最低限の拠出となるよう努める。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー-714		平成23年行政事業レビュー-	